



R2 チャレンジ! グリーン活動

生物保護コース

高松市立香川第一中学校

生物飼育がかり

香川第一中学校の有志によるグループです。香川第一中学校では、県の許可を受けてニッポンバラタナゴとカワバタモロコを飼育、展示しています。また、出水などきれいな水の流れる環境にすむアブラボテも飼育・展示しています。香川町は校区内に香東川の伏流水である出水が多く、水がきれいな町です。県内の希少種の飼育・展示を通して、生物の豊かさと香川町の素晴らしい環境を発信します。

目標

- ・アブラボテの飼育・展示を通して香川町の豊かな環境を発信すること。
- ・カワバタモロコの里親として保護活動に取り組み、系統保存を行うこと。

指標

- ・香川町の出水とアブラボテに関する資料を作成し、掲示する。
- ・香川県産のカワバタモロコの系統保存を行い、年間30匹の増殖をめざす。

活動の様子



アブラボテの世話のようす。
「健康に育てるためには水替えと毎日の観察が欠かせないね」



カワバタモロコの世話のようす。
「稚魚のえさやりが大切だね」



カワバタモロコの稚魚

<本年度、工夫できた点・挑戦できた点>

- ・アブラボテの展示・飼育を通して出水の存在と水辺環境への意識づけを広く啓発できた点。
- ・カワバタモロコの繁殖活動を通じて、安定した繁殖のためには初期飼料の確保が課題であると明らかになった点。

目標の達成度

今年度、カワバタモロコの繁殖で増やすことができた個体数は目標30匹に対して7匹であった。しかし、活動を通して飼育の方法や生態などを学び、来年度以降の活動につながるよい経験ができた。また、多くの人に出水や生物の素晴らしさと環境保全の大切さを伝えることができた。